

2024年12月下旬配本予定

新城兵一 詩集

フィンクトミヤーク

作者は、かつて復帰直後、「たとえ俺たちが従順にみえても／そこで／無言のまま耐えてきた時間の堆積は／打ちつけてもたじろがぬ／闘いの武器とならねばならぬ／盲目でありすぎる俺たちへの／最初の告発のことばとならねばならぬ」（「闘いへの序章」）と歌った。

そして現在、「新軍事基地建設」という、復帰後最大の国家暴力の突出に直面して、作者は、おのが「詩」の解体をも顧みず、いかに〈コトバ〉の力動的想像力の駆使によって、状況の根柢へ対峙せんとしてきたのか、その苦しい格闘の軌跡である34の詩篇をもって開示する。

詩集
フィンクトミヤーク
新城兵一

螺旋社

- I 言葉の受難・球体と裂開・きみの名は・健忘症・あきらめ（?!）
- II 内破・移設承認前夜・祭りのあと・走れ メロン・幼年の記憶から・セルラースタジアム・おれたちの声は・高曇りの空・海・立ちたい・シンデレラ・対峙・遵法的・解体 / 胎動・ブロック・苦海的位置・暗雲低く垂れこめて・。
- III 少年・甘蔗伐採期・白い花・降誕祭・即断遅延凝視・罵倒語彙集・恐怖の島・とうみみーる・滑稽な午後・険の海・「ふるさと」にて・緘黙の空・

新城 兵一（しんじょう たけかず）

1943年宮古島市（旧城辺町）字新城833の2番地で生を受ける。

『未決の囚人』、『流亡と飢渴』など十数冊の詩集を刊行。

評論集『生存と仮構』、『負荷と転位』、その他評論多数あり。

SBN978-4-908160-13-4 C0095

A5版 / 144頁 / 2,000円+税 / 限定200部

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX: 03-3721-1922

TEL:03-6715-6121

http://tsubamebook.com

mail:info@tsubamebook.com

貴店名（番線印）

小舟舎 <https://kobunesha.com/>

返品条件付注文扱い

返品了解

ツバメ出版流通：川人

新刊 新城兵一詩集

フィンクトミヤーク

ISBN978-4-908160-13-4 C0095 ¥2,000E

H210mm × W148mm 144頁

ご担当：

様

冊